

附属支部

附属支部は、附属小学校・附属中学校それぞれで情報教育の研究及び研修を行っている。今年度は、主として附属小学校の取組を紹介する。

1 教職員研修について

企画情報部が主となり、学期ごとに研修を行っている。今年度の研修の内容は以下の通りである。

- (1) 1学期… Webページの運用について
情報機器の管理運用・メール設定・各種名簿の利用方法
教室用パソコン (Mac mini) の使用方法 など
- (2) 2学期… セキュリティ等の危機管理
Webページの作成 (学校や学年の活動紹介)
スカイプ・電子黒板の使用について (授業研究の中で)
- (3) 3学期… Webページの作成 (研究大会案内・研究授業内容紹介など)
NAS(Network Attached Storage)を利用した文書整理

2 授業研究について

本校では、2月10日(木)開催の愛媛教育研究大会に向けて、全教員が1・2学期中に研究授業を行っている。特に情報教育に特化した授業研究ではないが、情報機器を活用したものとして2つの事例を紹介する。

(1) 5年生 外国語活動

- スカイプを使用したオーストラリアの小学校と交流活動。(写真①②) オーストラリアの小学校とメールで授業内容を計画し、スカイプを使って何度か交流を行っている。研究大会では、外国語活動「Tell Me About Your Day」の単元で、フィリピン大学附属小学校との交流を公開する予定。写真③は、交流のための発表準備の様子。



① H22.5.17



② H22.6.1



③ H22.12.21

研究大会の案内<http://www.ehime-u.ac.jp/~fusyo/>

(2) 2年生 図画工作科「きらきらシャボンで」

- 導入場面で、子どもたちがシャボンの泡でつくった模様を電子黒板に提示し、見立て遊びを行った。泡模様が何に見えるか、電子ペンで書き加える活動で、子どもたちの興味・関心を高めることができた。また、実際に画用紙に絵の具やマジックで描く際の抵抗感を軽減することができた。



3 今後の課題

- (1) 各教科等におけるICTの更なる有効活用
- (2) Webページの充実 (研究日より)
- (3) 情報モラルやセキュリティに関する研修及び実践
- (4) 持田地区メールから全学メールへの移行と運用